

令和4年度事業報告

I 活動の概要

令和4年度の業務は、長引く新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、定時総会は書面決議による開催、一部研修会は中止となったが、感染症拡大防止対策に取り組みつつ林土連並びに関係団体と連携し、適正な業務の執行に努めた。

本年度の重点事項に関する取組みを中心に報告する。

1 林野公共事業を通じた国民生活への貢献

令和4年度の林野公共事業は、令和3年度補正予算と併せて約2,700億円の予算が確保された。

当協会会員企業は、それぞれの地域において住民が安全で安心して生活できるよう、森林整備事業、治山事業の適切な実施に取り組んだ。

2 継続的な所要の林野公共事業予算の確実な確保

令和5年度当初予算の拡充・確保に向けた取組み

(1) 令和5年度当初予算に関する要請活動等

当協会は、田中会長ほか理事が8月中旬～下旬にかけて、林土連が三役会議で、森林整備・治山事業予算を増額確保することに加え、国土強靱化に必要な予算を別枠で確保すること等を要請内容とする「令和5年度当初予算における林野公共事業予算に関する要望書」を青森県選出の国会議員（秘書対応含む）及び東北森林管理局長に手渡し、令和5年度の林野公共事業予算の確保に関する要請を行うとともに、引き続きの支援をお願いした。

(2) 森林整備・治山事業促進議員連盟総会への出席

昨今の激甚な災害の発生等を踏まえ、国民の命と暮らしを守る「緑の国土強靱化」をはじめ、2050年カーボンニュートラル等の実現に向けて、森林整備・治山対策の推進が不可欠であることから、令和5年度当初予算等の確保に全力で取り組む必要があるとして、5月30日と8月25日の両日に総会、11月17日には緊急決起大会が開催された。

これらの会には林土連から新谷会長が出席し、「地域の存立基盤である山村や森林をしっかりと整備・保全し、住民のいのちと暮らしを災害から守っていく役割を果たしていきたい。そのためにも『国土強靱化5か年加速化対策』をはじめ林野公共事業予算の安定的な確保が必要不可欠であり、引き続きのご支援をお願いしたい」との要請を行った。

(3) 2022治山・林道のつどいに参加

林土連では昨年に引き続き、全国治山林道協会会長会議主催の治山・林道のつどいに共催参加しました。11月16日に開催された「つどい」では、林土連から堀川副会長が「現場からの声」として地元山形県の8月豪雨災害の状況等を説明するとともに「8月の記録的な大雨で山地崩壊や林道崩落などの災害が発生したが、これらを確実に復旧させていくためには、若手技術者の育成・確保という課題があり、この課題を解決するためには、中長期的に所要の予算が確実に確保されることが不可欠である。」と訴えました。なお、当協会から田中会長ほか三役がオンラインで参加した。

(4) 令和5年度当初予算に関する要請活動等

林土連では7月11日に三役会議を開催し、森林整備・治山事業予算を増額確保することに加え、国土強靱化に必要な予算を別枠で確保すること等を要請内容とする「令和5年度当初予算における林野公共事業予算に関する要望書」を取りまとめ、同日、新谷会長、小野・堀川副会長が、農林水産大臣、農林水産省政務三役及び林野庁長官をはじめとする林野庁幹部に要望書を提出し、来年度の林野公共事業予算の確実な確保について要請を行った。また、林土連事務局は、関係する主要国会議員(秘書対応)に対して林野公共事業の現状を説明するとともに、同要望書により令和5年度当初予算における林野公共事業予算の増額確保に向けての引き続きの支援を求めた。

当協会は、田中会長ほか理事が、3名の地元国会議員(秘書対応含む)に対して林野公共事業の現状等を説明するとともに要望書を持参し、「令和5年度当初予算における林野公共事業予算確保」について支援をお願いした。

以上の活動の結果として、令和5年度の予算も前年度補正予算と合わせて目標とする林野公共事業予算2,600億円を超える額を確保できる見通しとなった。

3 相次ぐ大規模災害被災地の早期復旧・復興

近年、全国各地で大規模災害が発生しており、令和元年10月に仙台森林管理署管内の国有林において台風に伴う集中豪雨により甚大な被害が発生し丸森町4地区の災害関連緊急治山事業等が発注され、当協会員が受注し早期復旧に向け全力で取り組んだ。

令和3年8月には、台風に伴う集中豪雨により下北・三八上北地域において甚大な被害が発生し、令和4年の2月～3月に下北森林管理署・三八上北森林管理署から「災害関連緊急治山工事及び治山林道災害復旧工事等」が発注され、当協会員が受注し早期復旧に向け全力で取り組んでいる。

さらに、令和4年7月～8月の記録的な大雨により、宮城県内では2河川で決壊が起き9市町で住宅被害が発生した。青森県でも東・西津軽郡をはじめ各地で甚大な被害が発生した。当協会の会員は、地元の建設業界の一員として災害発生時のライフラインの応急復旧に対応するとともに、東北森林管理局長と締結した「国有林防災ボランティア制度に関する協定」に基づき、宮城北部森林管理署、青森森林管理署、金木支署管内の国有林における林地荒廃の発生状況及び治山・林道施設被災状況の早期把握に努め、当該森林管理署に報告を行った。

4 デジタル技術を活用した生産性の向上と業務の効率化の促進

林土連と連携し、森林土木工事におけるICT施工技術を活用した取り組みを促進することを目的として、会員企業への「ICT施工経験に関する聞き取り調査」を実施し、ICTを活用した測量、工事、施工管理等に関する実績の把握に努めるとともに、他省庁での取組状況に関する情報の収集に努めた。

当協会は、「施工技術及び安全管理指導者研修会」において、森林管理局担当官から今年3月に作成された「ICT活用工事施工実施要領」の説明を

受けるとともに、会員各社におけるICT活用の取組状況等について情報交換を行った。また、現場監督業務の効率化を進めるため、森林管理局等に対し「情報共有システム」の積極的な活用についても要請を行った。

5 「適正な利潤の確保」への取り組み

林土連と連携し、会員に対して「工事の設計・積算が適正でなかったと思われる事例」の提出を依頼し、その内容を取りまとめ林土連に報告した。

また、当協会が実施している「施工技術及び安全管理指導者研修会」、「治山・林道工事施工技術研修会」及び林土連技術担当者連絡協議会に向けて、会員各社から出された改善要望事項を取りまとめて林野庁・森林管理局に提出し、早期の改善を求めるとともに、森林管理署等の工事発注者に改善に向けた指導を徹底するよう要請した。

6 労働災害防止、特に重大災害の絶滅と労働災害ゼロへの取り組み

令和4年度は、昨年度に発生した重大災害の再発防止策を踏まえ、安全管理体制の見直し・強化を図り、積極的な安全活動に取り組むこととした。

4月26日開催の第1回技術安全委員会で「令和4年度労働安全衛生の確保に係る対策等」を策定の上、第2回理事会での承認を得て直ちに全会員に通知し、全作業員に対する周知・徹底及び適切な指導を要請した。また、経営者等の強い決意の下に「労働災害ゼロ」を目指すこととし、組織を挙げて労働安全への取組を強化・継続していくこととした。

7 コンプライアンス活動への積極的かつ強力な取り組み

4月26日に第1回コンプライアンス委員会を開催し、令和4年度事業の計画を決定した。この事業計画で決定したコンプライアンス講習会を10月20日に開催し、会員のコンプライアンス意識の向上に努めた。

また、社会貢献活動については、積極的に実施し林土連に報告するとともに、当協会の会報・ホームページで情報発信を行った。

8 調査研究及び資料の収集

林土連では、「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」を今年度も継続して実施することとしている。また、会員が実施している治山・林道工事のPRを目的に、昨年度の林野庁治山・林道工事コンクールでの各種受賞工事の写真を収集してHPに掲載することとしている。

このため当協会は、5月12日に三八上北森林管理署・7月5日に岩手南部森林管理署管内の治山工事箇所において現地調査を実施し、林土連に報告した。また、林野庁治山・林道工事コンクールでの各種受賞工事の写真を林土連へ提供した。

II 事項別の概要

1 技術者の養成及び研修について

各種研修会等を通じて施工技術等の向上、技術者の養成、労働災害防止の推進及び安全管理指導者の養成を図った。

(1) 「施工技術及び安全管理指導者研修会」の開催

- ① 青森県会場(三八上北森林管理署中天間館・下石高治山林道災害復旧工事箇所ほか)での開催

- ア 7月19日、青森県内会員13社外35名、青森森林管理署外2署の担当官6名が出席し実施した。
- イ 講師：三八上北森林管理署長、東北森林管理局担当官、三八上北森林管理署担当官。
- ② 岩手県会場(盛岡森林管理署大沢治山工事箇所ほか)での開催
 - ア 7月20日、岩手・宮城県内会員15社外58名、岩手北部森林管理署外3署の担当官8名が出席し実施した。
 - イ 講師：盛岡森林管理署長、東北森林管理局担当官、盛岡森林管理署担当官。
- (2) 「治山・林道工事施工技術研修会」の開催
 - 10月19日～20日、宮城北部森林管理署管内三郎石沢治山工事箇所ほかにおいて、宮城北部森林管理署長・東北森林管理局担当官5名・宮城北部森林管理署担当官7名を講師に迎え、技術安全委員、会員各社の現場代理人等76名が参加し実施した。
 - ① 10月19日 「現地研修及び意見交換」
 - 三郎石沢治山工事箇所及び岩魚沢林道改良工事箇所において、田中会長の挨拶、仙北谷署長からご挨拶をいただいた後、治山・林道工事箇所での施工状況を見ながら意見交換を行った。
 - ア 三郎石沢治山工事箇所
 - 署担当者から工事発注に至る経緯の説明、現場代理人等から工事概要の説明等を受け、その後、コンクリート谷止工の施工状況を見ながら意見交換を行った。
 - イ 岩魚沢林道改良工事箇所
 - 署担当者からの工事発注に至る経緯の説明、現場代理人等から工事概要の説明等を受け、その後、超軽量盛土工の施工状況を見ながら意見交換を行った。
 - ② 10月20日 「室内研修」
 - ア コンプライアンス講習会
 - 東北森林管理局総務企画部企画官から「発注者綱紀保持対策の取組」について説明をいただき意見交換を行った。
 - イ 局担当官からの説明・指導と意見交換
 - 局担当官から「治山・林道事業実行上の留意事項、情報共有システムの活用、ICT活用工事」等の説明・指導を受け意見交換を行った。
 - ウ 会員各社から提出された「治山・林道工事における改善要望事項」について回答をいただき活発な意見交換を行った。
- 最後に、菅原副会長から受注工事の品質確保は勿論のこと労働災害防止について改めて要請し、2日間の研修会を終了した。
- (3) 「技術安全委員会」の開催
 - 令和4年度は、3回開催し、技術向上のための技術者の養成、労働災害防止のための対策等の企画・立案等を行った。
 - ① 第1回委員会(4月26日)
 - 「令和4年度労働安全衛生の確保に係る対策等、令和4年度労働災害防止重点会社の指定、令和4年度の主な事業計画」等について協議し、具体について企画・立案を行った。
 - ② 第2回委員会(書面決議)
 - 令和4年度前期事業計画の実施状況、後期の事業計画(案)、後期にお

ける労働安全の確保対策等について協議を行った。

③ 第3回委員会(令和5年1月20日)

令和4年度事業計画実施状況の報告、令和5年度事業計画(案)、令和4年度における労働安全確保に係る対策等(最終は令和5年度第1回委員会で決定)及び令和5年度重点会社の指定について協議を行った。

(4) 「森林分野CPD」への取組と推進

技術者の養成と技術の向上を図るため、引き続き、公益社団法人森林・自然環境技術教育研究センター(JAFEE)の団体会員として、個人会員への加入を促進するとともに同センターの認定を受けたプログラムによる研修会を実施した。なお、施工技術研修会はコロナウイルス感染症防止等のため中止とした。

(5) 「林土連技術現地研修会」への参加

10月25日～26日、名古屋協会管内において開催され、当協会から田中会長ほか6名が参加し技術の向上と交流を図った。

(6) 「林土連技術担当者連絡協議会」への出席

11月14日、東京都内の「航空会館」において開催され、当協会から菅原技術安全委員長ほか2名が出席し、各協会から提案された改善・要望事項、労働災害防止策等について林野庁担当官から説明・指導いただくとともに、現場実態を踏まえた意見交換を行った。

2 労働災害防止の推進及び指導について

令和4年度は、昨年発生した重大災害の再発防止策を踏まえ、安全管理体制の見直し・強化を図り、積極的な安全活動に取り組んだ。

4月26日の第1回技術安全委員会において策定した「令和4年度労働安全衛生の確保に係る対策等」について、第2回理事会での承認を得て全会員に通知し、労働安全衛生確保対策等の周知徹底を要請した。

また、今年度からヒヤリ・ハットを活用した労働災害防止を積極的に推進するため、「ヒヤリ・ハットメモ帳」1万6千部を作成して会員全社に配布するとともに、組織を挙げて「労働災害ゼロ」への取組を強化・継続することとした。

(1) 「施工技術及び安全管理指導者研修会」の実施(再掲)

7月19日青森会場、7月20日岩手会場で実施し、労働安全活動への指導、助言を通じ、労働安全の確保に努めた。

(2) 「技術安全委員会」の開催(再掲)

本年度は3回(4月26日、9月17日(書面)、令和5年1月20日)開催し、「令和4年度の労働安全衛生の確保に係る対策等」ほかを企画・立案し理事会に報告した。

(3) 「技術安全委員による安全点検」の実施

安全点検を踏まえた指導・助言及び意見交換を通じて労働災害を防止するため、次の箇所において安全点検を実施した。

いずれの箇所においても安全懇談会を実施し、労働安全衛生の確保、点検結果の指摘・改善事項等について適切に対応するよう指導・助言等を行った。

① 青森県地区

6月16日に津軽森林管理署管内関ヶ平治山工事箇所、11月17日に下北森林管理署管内大赤川災害復旧治山工事施工箇所で開催した。

② 岩手県地区

6月29日に盛岡森林管理署管内大沢治山工事施工箇所、11月11日に岩手南部森林管理署管内永徳山治山工事施工箇所を実施した。

③ 宮城県地区

7月4日に宮城北部森林管理署管内三郎石沢治山工事・岩魚沢林道改良工事施工箇所及び小野松沢治山工事施工箇所を実施した。

- (4) 「全国安全週間への取組」等による労働災害防止に関する推進・指導等労働安全ポスターの配布、労働災害発生概要及びその対策等を周知徹底、会員各社への指導・助言を通じて、労働安全の確保等に努めた。

- (5) その他の労働災害防止活動の推進

各地区会員に対する労働安全活動への指導、助言を通じ、労働安全衛生の確保に努めた。

3 調査研究及び資料の収集について

- (1) 「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」の実施

平成23年から開始した「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」は、林業土木分野での木材利用の促進を目的に、治山施設等で設置された木製構造物について、部材、機能等の経年変化を調査するものである。令和3年度からの調査は3巡目となるが、前回調査した箇所がどのように変化したかを調査し、林土連へ報告を行うものである。

本年度は、次の箇所において現地調査を実施し、林土連へ報告を行った。

- ① 三八上北森林管理署棚沢治山工事(平成23年度施工：木製水路工)

5月12日に実施したが、前回に比べると腐朽による傘木の落下、支柱杭木・土留横木の腐朽も進行していたが、損壊等による流水の停滞箇所なく水路工として機能していた。しかし、今後、支柱等の折損、土留横木の破損による背面土砂の流出による水路工の閉鎖が危惧される状況にあると思われる。

- ② 岩手南部森林管理署岩沢治山工事(平成21年度施工：木製残存型枠工)

7月5日に実施したが、ドライバー貫入深調査、こけ類の着床から腐朽が進行している。堤体の強度等への影響はないが、型枠部材の流出による周辺環境への影響を考慮する必要があると思われる。

- (2) 「山地災害等の調査、情報の収集・提供」等について

- ① 「国有林防災ボランティア制度に関する協定」等に基づく山地災害等調査

森林管理署長からの派遣要請を踏まえ、「国有林防災ボランティア制度に関する協定」等に基づく山地災害等調査を実施した。

ア 7月22日、宮城北部森林管理署長から派遣要請があり(株)笹原組ほか2社から50名が出動し調査活動を行った。

イ 8月8日、青森森林管理署長から派遣要請があり相内建設(株)から12名が出動し調査活動を行った。

ウ 8月18日、金木支署長から派遣要請があり、宝森建設興業(株)ほか3社から10名が出動し調査活動を行った。

- ② 山地災害情報の収集・提供等

会員は奥地山岳林の現地に精通しており、融雪、台風、地震、集中豪雨の後には、会員各社が自主的に点検を行い、必要に応じて当該森林管理署に必要な情報を提供した。

4 情報収集及び政策提言等について

- (1) 「林業土木事業、森林・林業全般」についての提言、「技術の向上、労働災害防止についての対策」等の提言・提案

森林・林業全般及び林業土木事業に係る工事施工上の課題、労働災害防止対策等について、「施工技術及び安全管理指導者研修会」「治山・林道工事施工技術研修会」「林土連技術担当者連絡協議会」等において関係省庁へ提案・要請を行った。

- (2) 令和5年度予算概算要求に向けた要請活動の展開

林土連と連携するとともに会員の協力をいただきながら、8月12日・22日・25日に3名の地元国会議員事務所に要請書を持参し、「令和5年度予算の概算要求に向けた予算確保」の要請活動を行った。

林野公共関係予算は、令和5年度予算概算決定額が1,875億円(治山事業623億円、森林整備事業1,252億円)、令和4年度補正予算額が695億円のほか、路網の整備・機能強化対策64億円(非公共)が措置されたことから総合計額は2,634億円となった。

また、本年度も青森県林業協会の会員として、令和5年1月17日に青森県知事ほか県幹部に対し「森林整備の推進と県産材の利用促進に関する要望書」を提出し、①森林整備の推進、②森林病虫獣害対策の推進、③林業労働力の育成・確保、④県産材の安定供給と利用促進、⑤林野庁所管事業の予算確保、について要請を行った。

要望事項に対し知事はそれぞれの項目についてコメントしたが、「林野庁所管事業の予算確保については、2年連続して続いた大雨災害からの早期復旧はもとより、全県的に路網や森林整備、治山事業等を着実に推進するための、十分な予算確保と積極的な対策強化に努めていく。」と述べた。

- (3) 社会貢献活動等の実施

国民共有の財産である国有林(自然休養林)等において、環境の保全・整備及びゆとりのある国民生活の推進等に寄与するためボランティア活動を実施することとしており、以下の環境整備等の活動を行った。

- ① 「ニホンジカ被害対策に係るボランティア活動」の実施

3月16日、宮城北部森林管理署管内波板国有林550林班ほかにおいて、会員企業3社から31名が参加し、防鹿柵の点検・補修、ニホンジカの捕獲・埋設作業及び林道補修等を行った。

- ② 「林道周辺注意喚起標識等の設置作業」の実施

6月13日、宮城北部森林管理署管内寒風沢林道ほか16箇所において、会員企業3社から21名が参加し、注意標識・看板等の設置・補修作業を行った。

- ③ 「ニホンジカ被害防止活動」の実施

9月15日、三陸中部森林管理署管内上石橋国有林24林班内において、岩手県内会員企業12社から26名が参加し、シカ埋設穴の掘削、埋設穴までの林道修繕等(シスイエース設置ほか)作業を行った。

- ④ 「老朽化した看板等の撤去・運搬作業」の実施

10月13日、岩手南部森林管理署管内の「栗駒山・栃ヶ森生態系保護地域」、葛丸川国有林内「再生の森」、「焼石岳生物群落保護林」において、腐朽した案内標識板等の撤去・運搬作業を行った。

- ⑤ 「遊歩道に腐朽し転倒した転落防止柵の撤去・運搬及び側溝の整備作業等」を実施

11月8日、青森森林管理署管内眺望山自然休養林内において、青森県内会員企業13社ほかから31名が参加し、腐朽し遊歩道に転倒していた転落防止柵の撤去・運搬、ミニバックホウによる側溝の作設及び排水施設の土砂除去などの作業を行った。

⑥ 「不法投棄防止クリーン活動」の実施

11月8日、盛岡森林管理署管内南昌山国有林431よ2林小班ほかにおいて、盛岡森林管理署、矢巾町、地域おこし協力隊、当協会の四者が連携し「不法投棄防止クリーン活動」を実施した。

当協会からは岩手県北会員企業8社ほかから18名が参加し、不法投棄された空き缶、瓶類、プラスチックゴミや燃えるゴミ等の収集・分別・処分場への運搬作業を行った。

5 コンプライアンス活動への積極的な取組

当協会コンプライアンス委員会が定めた令和4年度「事業計画」に基づき、以下の事業活動を実施した。

また、社会貢献活動については、会報及びホームページを活用し、積極的な情報発信に努めた。

(1) コンプライアンス委員会の開催

① 第1回委員会

4月26日に開催し、令和4年度事業計画を決定した。

本事業計画は、同日開催された理事会に報告し了承された。

また、社会貢献活動については、会報及びホームページを活用し積極的な情報発信に努めることとした。

② 第2回委員会

令和5年1月20日に開催し、令和4年度コンプライアンス委員会活動報告、令和5年度事業計画(案)を提示し了承された。

(2) コンプライアンス講習会の開催

① 10月20日開催の「治山・林道工事施工技術研修会」において、東北森林管理局担当官を講師を迎え講習会を開催した。

② 11月15日、航空会館で開催された「林土連コンプライアンス講習会」に菅原副会長外2名が出席し、講演を拝聴するとともに意見交換を行い、コンプライアンス意識の向上に努めた。

(3) 会員各社の「コンプライアンス活動」への支援等

会員各社からの要請を踏まえ、講師の派遣等を含めた支援活動を行うこととしている。

(4) 関係機関へのコンプライアンス活動等の紹介

当協会及び会員が実施したコンプライアンス活動について、取りまとめの上、林土連、東北森林管理局など関係機関に紹介するなどし、信頼の醸成に努めた。

また、社会貢献活動についても、会報及びホームページを活用し、積極的な情報発信に努めた。

6 表彰について

(1) 「令和4年表彰者」への記念品贈呈等

令和4年度定時総会が書面決議となったことから、「林野庁長官感謝状受賞者、林土連会長表彰者及び治山・林道工事コンクール表彰者への記念品」については、各受賞者へ郵送した。

また、治山・林道工事コンクールで東北森林管理局長賞を受賞した現場代理人への記念品についても、各受賞者へ郵送した。

(2) 「令和5年表彰者」の選考・推薦

9月14日開催の第3回理事会において、「劣悪な条件下で林業土木事業に取り組み、技術の向上、経営基盤の強化等に尽力した者の表彰」について審査・選考し、林土連会長表彰者1名の推薦を行った。

7 普及・啓発及び広報について

会報の発行等により技術の向上、労働災害の防止、森林・林業に関する広範な情報提供を行うとともに、治山事業、森林整備事業の普及、啓発、森林・林業施策推進への支援等を行った。

(1) 会報「引照点」の発行

会報の発行等により技術の向上、労働災害の防止、森林・林業に関する広範な情報提供を行うとともに、治山事業、森林整備事業の普及、啓発等を行った。

本年度は、会報を3回(6月・10月・1月)発行し、関係省庁、関係団体、会員等へ配布した。

(2) 森林・林業施策推進への支援

令和4年4月、緑豊かな環境作りと地球温暖化防止対策の重要性に鑑み、緑の募金など森林・林業施策の推進が円滑に行われるよう支援を行った。

また、青森県緑化推進委員会及び沖館緑の募金推進協力会の会員として、森林・林業施策の推進が円滑に行われるよう活動を行った。

(3) その他の普及啓発について

森林・林業の普及・啓発のため、林政関係団体等との連携、交流を行った。

8 会員への連絡、連携、交流

「令和4年度定時総会(書面決議)」や会報「引照点」等を通じて、会員の連絡・連携・交流を図った。

9 林業関係団体等との連携協力

林業協会等関係諸団体との連携・協力による治山事業・森林整備事業等の普及・啓発を図った。

III 会 議

1 令和4年度定時総会(書面決議)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面決議により開催し、提案どおり決定承認された。

第1号議案 「令和3年度事業報告並びに決算」承認の件
(参考) 「令和4年度事業計画並びに予算」について

2 理事会

次のとおり林業土木会館会議室外において開催し、総会に付議する事項の決定や、総会で議決した事項の執行等の会務運営を行った。

(1) 第1回理事会 [2月24日：林業土木会館]

① 令和3年度事業報告、決算報告並びに監査報告について

- ② 令和4年度事業計画及び予算の一部修正について
- ③ 令和4年度協会運営計画案について ほか
- (2) 第2回理事会 [5月9日：林業土木会館]
 - ① 令和4年度労働安全衛生確保に係る対策等について
 - ② 令和4年度安全管理重点会社の指定について ほか
- (3) 第3回理事会 [9月14日：林業土木会館]
 - ① 林土連会長表彰者の推薦案について
 - ② 令和4年林土連技術現地研修会について
 - ③ 令和4年度業務執行状況(令和4年2月～8月)報告 ほか
- (4) 第4回理事会 [10月19日：ルートイン古川]
 - ① (株)牧野組からの退会届について
- (5) 第5回理事会 [12月16日：林業土木会館]
 - ① 令和4年度決算見込みについて
 - ② 協会運営計画(当面の主な行事)案について
 - ③ その他の件(令和4年度林土連会費、令和4年度東北森林管理局治山・林道工事コンクール入賞工事ほか)について
 - ④ 林土連第4回理事会等及び技術担当者連絡協議会の概要を報告 ほか
- (5) 第6回理事会 [令和5年1月20日：林業土木会館]
 - ① 令和5年度事業計画案並びに予算案について
 - ② 令和5年度定時総会及び関連行事について
 - ③ 令和5年度の協会会費について ほか

いずれの理事会においても、詳細に説明・提案し了承された。

3 三役(会長・副会長、常務)会議

各理事会に先立って開催し、業務執行並びに理事会の審議事項等について協議した。

4 監事会

2月24日、林業土木会館会議室において開催し、令和3年度の事業報告及び決算について監査を行った。

5 その他の主な会議等

(参考1)